

北上・西和賀 にぎわいフェア

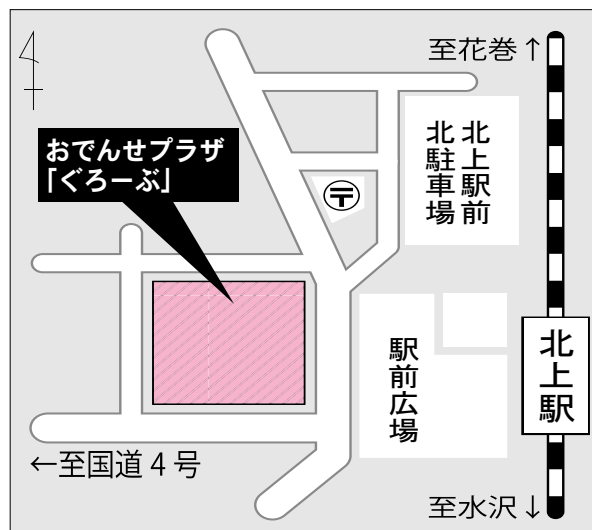
日時

2月14日(金)・15日(土)
10:00～15:00

会場

おでんせプラザ
「ぐろーぶ」地階

北上と西和賀、秋田の特産品が勢ぞろい。もちまきやステージイベント、地元土産品やイベント会場で使える商品券が当たる抽選会など楽しいイベントが満載です。
また、『きたかみの「物産と手づくり展」』が同時開催されます。



※当日午前10時～午後3時の間、来場者は北上駅前北駐車場が無料になります。



問い合わせ

商業観光課 ☎72-8241

北上・西和賀にぎわいフェア実行委員会

(事務局 (一社)北上観光コンベンション協会 ☎65-0300)

ステージ演芸出演者募集

日ごろ、磨いている演芸をお持ちの個人や団体の皆さん、大勢のお客さんの前で発表してみませんか(20分程度)。

▷出演日時…2月14日(金)・15日(土)午前10時30分～午後3時

▷場所…おでんせプラザ「ぐろーぶ」地階

▷演芸種目…民謡・舞踊・太鼓、コーラス、楽器演奏・バンド演奏、ダンス、手品、カラオケ発表(時間内であれば何曲でも構わないが、歌う曲目のカラオケ(CDかカセット)を用意できる人)、その他(演芸と思われる芸)

▷申し込み…1月31日(金)までに応募用紙に「住所、氏名、職業、電話番号、ファクス番号、演芸内容(カラオケの場合は曲目)、発表時間、希望日時(午前・午後)」を記入し、郵送(〒024-0061大通り1-3-1おでんせプラザ「ぐろーぶ」北上観光コンベンション協会内)またはファクス(88-3002)で同実行委員会へ

※団体の場合は、代表者の住所、氏名、電話番号、ファクス番号を記入してください。

※希望する出演日・時間が重複する場合には事務局で調整させていただきます。

市の動き

北上第1・第2ソーラー発電所の愛称を募集しています

▽愛称の条件：①市民の皆さんが覚えやすく親しみやすい
②自作・未発表のもの
▽応募資格：応募時点で北上市内に住所を有する人、または北上市に通勤・通学している人
▽選考方法：最優秀賞1点を決定。入賞者へは賞状と記念品を贈呈
▽応募方法：1月31日（金）必着までに必要事項（様式自由・1枚につき愛称1件を記載）の①愛称（ふりがな）②愛称の理由（100字以内）③住所

氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号、職業、学校名を記入し、はがき（〒024-10392住所記載不要）、ファクス（72-3300）、電子メール（kankyo@city.kitakami.iwate.jp）直接持参のいずれかで環境課へ
※一人2点まで応募可能。詳しい応募要項は市のホームページをご覧ください。
▽問い合わせ：環境課 ☎ 72-18283

ふるさと北上応援寄附

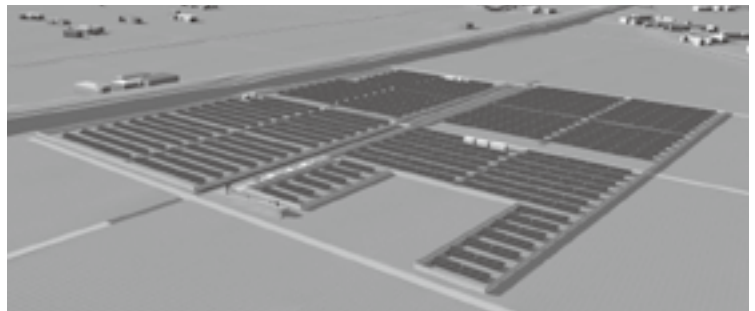
北上市のまちづくりを応援していただく「ふるさと北上応援寄附」として、次の皆さまからご支援をいただきました。ありがとうございます。
○ 蘭牧枝さん（神奈川県大和市）○ 佐々木節子さん（神奈川県大和市）○ 鈴木昌子さん（埼玉県草加市）○ 菅野建弘さん（東京都江戸川区）○ 片山龍之介さん（東京都世田谷区）○ 小原磯則さん（東京都練馬区）○ 高橋庄平さん（盛岡市）○ 南川真由美さん（東京都江東区）○ 及川量平さん（北上市）○ 及川佑子さん（北上市）○ 及川桂子さん（北上市）（10月1日～12月31日・受け付け）
▽申し込み・問い合わせ：財政課 ☎ 72-18249

市内の避難者状況

（12月27日現在）

田野畑村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市
1世帯 4人	11世帯 18人	28世帯 63人	73世帯 141人	49世帯 123人
大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	市内間
16世帯 32人	31世帯 55人	21世帯 50人	18世帯 48人	3世帯 6人

※市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。



市庁舎予定地に建設中のソーラー発電所イメージ図

あじさい都市



「あじさい都市」は、北上市が目指そうとしている理想都市の呼称である。まちなかを中心として、活力ある地域コミュニティが結びつく姿をアジサイの花に例えている。国が成長期にあるときは、経済も人口も右肩上がりです。都市の市街地も拡大を続けてきた。しかし、我が国はしばらく前から成熟期に入っており、既に多くの都市は人口減少期に入っている。それでもなお今まで、多くの地方都市は市街地拡大傾向に有効な防正対策を打てず、既存のインフラを無駄にし、新たなインフラづくりに追われている。これでは、今後、住民へのサービスが先細って行くのは目に見えて明らかである。ヨーロッパやアメリカなどの先進都市では、半世紀も

前にこの事に気づき、市街地の拡大を防ぐ、いわゆるコンパクトシティの政策を進めており、近年、我が国でも国土交通省を中心に都市政策の転換を図りつつある。昨年7月、国土交通省に設置された都市再構築戦略検討委員会の中間報告で、北上市が進めようとしている「あじさい都市構想」が地方都市のあるべき姿として富山市の「串と団子型」などの事例と共に紹介されている。

「あじさい都市」は単なる一極集中のコンパクトシティではない。北上市の場合、市を構成する16地区それぞれに地域核を持ち、それぞれが意志を持って輝きを放つコミュニティとして咲く姿である。

平成3年、旧北上市・和賀町・江釣子村が合併し、今の北上市となったが、当時の高橋盛吉市長は新市をアジサイの花に例えて、3地域の発展を夢見ていた。「花それぞれ人それぞれそれぞれに咲く」という言葉があるが、それぞれの地域がアジサイの花のように多彩に咲き誇る姿、そんな北上市の未来をみんなで創造して行きたいものである。